

事業実績書

1 事業名

備中地域における伝統芸能を通じた地域活動
～「本物の能楽」に触れて地域における伝統芸能・伝統文化を再発見しよう～

2 実施期間

令和4年4月4日～令和4年10月31日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

備中地域の伝統文化・伝統芸能を知ることにより、自らの存在が地域社会の中で育まれたことを再認識し、若い世代に地域のためにできること、故郷のためにできることを探すきっかけになればと考える。地域住民主体によるまちづくりや地域住民による魅力発信など、当該地域の魅力再発見につなげることを目的として、備中伝統芸能フェスティバル及び備中能楽講座を開催した。

② 事業の詳細

（1）備中伝統芸能フェスティバル

開催日時：令和4年7月31日（日） 開場12時／13時開演～17時頃終演

会場：倉敷市芸文館大ホール（倉敷市）

対象：備中地域を中心とした県下全域、近隣都府県の方

入場料：全席自由 大人 2,000円 生徒・学生 1,000円
未就学児 無料（※事前申込）

チケット販売：法人直接販売、チケットぴあ及び倉敷市芸文館委託販売

内容：①「藤戸」演能会、②地域の伝統芸能団体等による舞台発表
③伝統芸能などの分野で活動している地域活動団体等の出展

出演・参加：①林松響会ら（観世流シテ方・林宗一郎氏 ほか）

②備中成羽社（招待）、茶屋町鬼太鼓保存会、豊洲如水太鼓、
矢掛高校神楽がかり

③源平藤戸合戦保存振興会、白石踊り800年の伝統を受け継ぐ会
共同受注窓口倉敷、特定非営利活動法人吉備たくみ会、
特定非営利活動法人地域資源文化研究所、藤戸饅頭

＜ボランティアによる運営支援＞

倉敷古城池高等学校、矢掛高等学校、倉敷翠松高等学校 ほか

【事業の位置づけ（狙い）】

身近な地域で伝統芸能に触れる、学ぶ、考える機会を創出するだけでなく、地域の歴史や文化にはそれらに伝統芸能・伝統文化が関係していること、そしてそれらが地域のつながりや地域活動に関わる重要な土台であることを認識する機会とする。

【事業の進め方】

企画の細部は、当法人内に設置した企画運営会議体である「備中県民局提案型協働事業プロジェクトチーム」で検討。その上で、企画実施前には県民局担当者や外部有識者も参加する「備中県民局提案型協働事業実行委員会」で情報共有し、課題や問題点等について協議した。

当日のマンパワー確保のため、広く地域住民から運営スタッフ（ボランティア）を募り、主に、当日の運営スタッフとして活躍していただいた。また、地域で活動されている方々の日頃の活動の紹介・発表の場として、伝統芸能団体等による舞台発表や地域活動団体等の活動紹介・出展などを企画し、地域の方に当事者として参加していただいた。

【成果・効果を高めるための工夫や仕掛け】

<若年者向け対策>

- ・法人ホームページや SNS を活用したデジタル広報の活用
- ・インターネットを活用したチケット販売（チケットぴあ）
- ・学生ボランティア（当日の企画運営支援のためのスタッフ）の活用
- ・伝統芸能興行には珍しい「未就学児来場（お子様）OK」の対応により、比較的年齢の若い世代の方がお子様連れで来所することができた。
- ・近隣を中心に学校を訪問して、事業の趣旨を説明し、チラシの配布、職員への回覧を依頼。帯江小、豊洲小、天城小、粒江小、多津美中、東陽中、天城高校では、校長先生・副校長先生に、直接、事業について説明することができた。

<高齢者等シニア層対策>

- ・「アナログ広報」
 広報紙・ビラなどの紙媒体での広報に加えて、芸事教室や和楽器店でのポスター掲示等、アナログ的な広報手段・チャンネルを多数設定し、広報を実施。併せて、県民局の広報枠を活用し、ラジオ広報や新聞広告による広報を行った。

(2022. 6. 26 山陽新聞掲載)

- ・「ご当地ネタ」での興行実施
 数ある演目の中でご当地が舞台となる能楽「藤戸」の上演。上演の際には、地元にはゆかりのある倉敷市児島・野崎家所有の能面を使用した。
- ・チケット販売に、現金販売や手売方式の形式を残す
 販売箇所として、法人事務局「つくぼ片山家」と上演会場（倉敷市芸文館）を設定
- ・関係者によるチケット斡旋購入方式の採用
 能楽教室の先生等が塾生のための入場券を代理購入するなどの対応を実施

○チケット販売数	: 大人 484 枚 / 学生・生徒 34 枚 計 518 枚
○入場確認数（観覧）	: 大人 & 学生・生徒 445 人 / 未就学児 5 人
○アンケート回収数	: 184 人（回収率 41.35%）
○企画参加者数	: 21 人
○ボランティア参加者数	: 56 人

※上記は名簿記載上の数で、記載漏れ等が若干見受けられる。

備中伝統芸能フェスティバル 実施状況



(2) 備中能楽講座

開催日：令和4年10月22日(土) 17時30分～19時30分

会場：天柱山頼久寺(高梁市)

対象：備中地域(主として新見・高梁地域)

入場料：3,000円(※先着20名/完全予約制)

内容：能「殺生石」を題材として、能楽の基礎、あらすじとみどころ、登場人物や歴史の背景等についての講話を行った。

講師：能楽師 観世流シテ方 林 宗一郎 氏

【事業の位置づけ(狙い)】

(1)と同様。

この取組を備中地域に広く展開するため、高梁地域で開催した。

【事業の進め方】

(1)と同様。

小規模企画のため、当日のマンプワーは法人担当理事及び県民局担当で対応した。

【成果・効果を高めるための工夫や仕掛け】

<若年者向け対策>

- ・法人ホームページやSNSを活用したデジタル広報の活用
- ・地元教育委員会を經由して学校へのイベント開催告知の実施
- ・能楽装束等の試着・解説時間を設定

<高齢者等シニア層対策>

- ・「アナログ広報」
主催地である高梁市を直接訪問。(高梁市役所・高梁市教育委員会、高梁市観光協会)紙媒体を活用した行政機関でのポスター掲示等、アナログ的な広報手段・チャンネルを多数設定し、広報を実施
- ・「ご当地ネタ」での興行実施
実は開催地付近に殺生石の欠片が飛来したという逸話をもとに、ご当地が舞台となる能楽演目「殺生石」を講演テーマとして採用
- ・地元の名刹を会場に設定し、開演時間をあえて一般参拝時間外に設定
会場に高梁市の名刹(天柱山頼久寺)を選定。夜間開催にして、普段では見ることのできないライトアップされた枯山水庭園を見ながらの開催とした。
- ・チケット販売を現金販売(当日支払い形式)とした。

○参加者数	:20人	
○アンケート回収数	:20人	(回収率 100%)

備中能楽講座 実施状況



③ 成果・効果

(1) 目標1「はじめて伝統芸能」に触れる地域住民を増加させる。

評価指標・測定方法	数値目標		
	R3年度	今年度	実績
アンケートにて指標化 （「初参加」指標化）	能楽講座 10%	演能会：20% 能楽講座：20%	全体アンケート項目 を設定せず ボランティア 74%

昨年度開催したイベントとは趣旨や規模が異なるため、開催済みイベント（備中伝統芸能フェスティバル）のアンケートには当該記載項目は設定せず。

ただし、ボランティア・企画参加者に後日、郵送でアンケートに答えていただき、ステージ企画を見た31人の内、太鼓、神楽、能のいずれかを「初めて見た」が23人（74%）だった。

(2) 目標2 企画を連携して運営できる団体等の獲得

評価指標・測定方法	数値目標		
	R3年度	今年度	実績
参加者団体数を計測し 数値化	演能会中止 後援5協力約10	後援：10 協力：15-20	後援：3 企画協力：13

昨年度は新型コロナウイルス感染症のため開催が中止となった為、同規模イベントとして比較することは困難であり、当年度の実績数を報告する。

備中伝統芸能フェスティバルでは、後援(3)、舞台発表による企画参加(4)、ロビーでの企画出展参加(6)、運営企画(運営ボランティア)参加(3)の合計16団体と連携し実施した。

(3) 目標3 伝統芸能を身近に感じてもらい地元への愛着や関心を醸成する。

評価指標・測定方法	数値目標		
	前年度	今年度	実績
意識変容等を数値化	—	意識変容 30%以上	【能楽講座】 65%

当初はアンケートに特定項目を設け当該指標を数値化することを検討したが、備中伝統芸能フェスティバルのアンケート調査では当該項目を設けることができなかったため、アンケートの自由記載欄から参加者・来場者の意見を抜粋して記載した。

【アンケート結果】

- ・ 地元の伝統文化を知ってもらう機会・・・
- ・ 地域とのつながりが深まる・・・
- ・ 藤戸に住んでいたため、ルーツにかかわる、こういう演目がとても有難いと思いました。
- ・ 地域の伝統芸能に若い人達が興味をもっているのだと知り、頼もしく思いました。
- ・ 地元岡山の伝統芸能に携わっておられる学校、団体が多くあることを知ることができた。

などの意見が多数あった。

また、備中能楽講座では、意識変容に関する項目を設定することができたため、数値化できた。結果は想定をはるかに上回り、参加者の65%の方がイベント参加後に何らかの意識変容があったと回答された。

④ 今後の課題・展開等

(1) 課題

■新型コロナウイルス感染症対策

イベント開催、特に、人員動員が必要な大規模イベントの開催には感染症対策が必須であり、集客のほか、会場やイベントスタッフの確保、関係者調整などに大変苦心した。県外から来県される多数の講師・演者等の対応については、来場時の検温や健康観察の徹底等、特に配慮を要した。また、学校単位でのイベント参加は、感染流行とともに校外活動そのものが制限・中止されるリスクがあり、スタッフが必要数確保できるか、開催日ぎりぎりまで分からず調整が難航した。

■当法人のマンパワー不足

→ 準備作業等にボランティアさんの協力が必要だった。

主催者としての意思決定が早い、小回りのきく態勢を重視したため、ボランティアには当日のお手伝いのみをお願いしたが、準備作業に多大な労力が必要で、県民局や法人協賛企業・団体等の献身的な支援がなければ運営できない状況であった。準備の段階から継続してボランティアに加わっていただくような体制づくりが課題である。

■多種多様な価値観を持たれる来場者への対応

感染対策や安全上の配慮から、主催者判断で、来場者の方に対する感染対策の徹底や会場への入場制限、座席の着座制限等を実施したが、その対応につき不快・不適切と思われた方が一定数おられた。

また、今回のイベントについては、県民局の公的助成事業であること等を踏まえ、「未就学児の来場 OK」、「親子で観劇、歓迎します」といった企画運営指針を採用し、あらかじめ広報や掲示等で周知徹底していたが、アンケート等では「非常識だ」、「鑑賞に集中できない」、「ワクチンを受けていない幼児など入場させるな」といった否定的・排他的な意見も散見された。「未就学児の来場 OK」という方針は、イベント開催の在り方に一石を投じることができたと思うが、入場制限等とともに、今後の検証が必要である。

(2) 展開

今回の企画実施を通して、次のような課題が浮き彫りになった。

- ・ 伝統芸能を身近に感じる機会が少ない。
- ・ 伝統芸能の担い手同士の交流が十分でない。
- ・ 伝統文化の継承のため、高校生等、特に若い世代に伝統芸能へ興味・関心を持ってもらう必要がある。

これらの課題解決のためには、行政機関や地域活動をする N P O だけでなく、教育機関や地域の民間企業等、地域のあらゆる関係者が連携しつつ、継続した取り組みを行うことが重要である。このことから、今後の当法人の課題解決に向けた取組を次のとおりとする。

- ・ 広報誌の配布など、企画協力団体との交流を継続（新たな連携を模索する）
- ・ 高校生と連携しての企画（鋭意計画中）

⑤ 県民局と協働した効果及び課題

(1) 効果

県民局のもつネットワークや発信力を活用し、備中エリアにある地元自治体や図書館等の文化施設等に効率的に広報が展開できた。また同じ補助事業を活用して地域活動を展開していた他団体の実践発表の場とステージ企画を協働することをご提案していただくなど、新たな協働の場を事業内で提案していただいたことは、双方にとって有意義なものであったと思われる。

(2) 課題

公費助成のために仕方ない部分かもしれないが、膨大な事務作業と県民局をはじめ関係者との意見・意思決定調整等に膨大な時間を費やした。人材不足が否めない零細NPO法人にとって助成金受給は魅力的であるが、その受給のために必要となる膨大な事務作業が補助申請のネックとならないような事務の簡素化等の運用改善が必要かと思われる。

4 参考事項・資料

- ・当日資料（イベント広報チラシ、パンフレット、当日配布資料等）
- ・アンケート結果(2022.7.31「備中伝統芸能フェスティバル」及び2022.10.22「備中能楽講座」)
- ・備中伝統芸能フェスティバル「藤戸」演能会・関係者ヒアリング資料

備中伝統芸能フェスティバル

観世流シテ方・林宗一郎

「藤戸」演能会

2022年 7月31日(日)

12時開場／13時開演(予定)

倉敷市芸文館 大ホール

(岡山県倉敷市中央1-18-1)

新見高梁特別招待公演 備中神楽「備中成羽社」(岡山県神社庁所属)も同時開催!

地域活動団体による舞台発表やロビー出展も!(ロビー出展は開場時刻の12時より開催予定)

【入場料】 全席自由

◎大人 2000円(税込)

◎生徒・学生 1000円(税込)

(小学生・中学生・高校生・専門学生・大学生)

◎未就学児 無料

(要保護者同伴・要事前申込)

※当日券の販売はありません。



十三世林喜右衛門(金の星渡辺写真場)

【チケット販売方法】 以下の①②いずれかの方法でお求めください。

①プレイガイド(チケットぴあ)販売

公演タイトル:備中伝統芸能フェスティバル「藤戸」演能会/Pコード:512304/興行コード:2213701

販売用URL:<http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2213701>

②下記2カ所での直接販売

◎つくば片山家(要事前連絡) 〒710-0023 倉敷市帯高727

電話:080-3107-5759/メール:project.katayama@gmail.com

◎倉敷市芸文館(9:00-17:00/水曜日休館) 〒710-0046 倉敷市中央1-18-1 電話:086-434-0400





十三世林喜右衛門（金の星渡辺写真場）

能「藤戸」とは

1184年の源氏・平家の藤戸合戦が題材。

藤戸海峡を隔てて対峙する源平両軍。当時、この地はほとんどが海だった。源氏の軍勢は船がなく、海を渡ることができずにいたが、源氏の武将・佐々木盛綱は、地元の漁師から浅瀬の場所を聞き出して、翌朝そこから攻め込むことに成功する。平家軍は屋島へと敗走。まさに天下分け目の戦いともいえる合戦だった。だが、盛綱はこの時、秘密を守るために、浅瀬を教えた漁師を殺していた。

盛綱が領地となった児島に入ると、その漁師の母親が現れ、盛綱に詰め寄る。盛綱も罪を認め、盛大な法要を営むと、漁師の霊が現れる…。

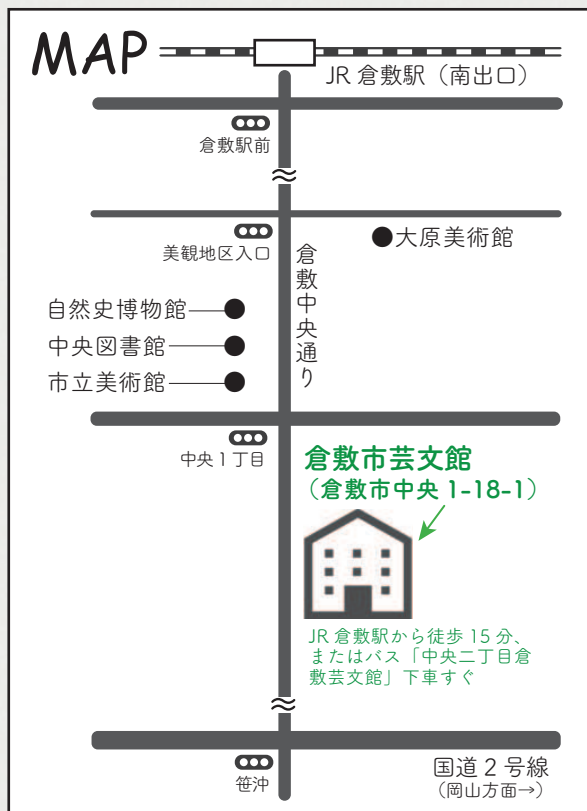


林 宗一郎氏

能楽師観世流シテ方。

京観世五軒家のうち、唯一残る林家十四代当主。

1979年京都生まれ。3歳で鞍馬天狗の花見役にて初舞台。父、十三世林喜右衛門師、及び二十六世観世清和に師事。



地域活動団体の舞台発表やロビー出展、神楽公演も！

「備中伝統芸能フェスティバル」では、「藤戸」演能会に加え、伝統芸能などの分野で活動している備中地域の団体等の発表・交流の場として、それら団体等による舞台発表やロビー出展を企画しました。なおロビー出展は、開場時刻の12時より開催予定です。

また、今年度は新見・高梁エリアとの連携企画であり、特別招待枠として備中神楽「備中成羽社」様を招待しました。

未就学児の入場OK！

感染症対策の一環で、事前に来場者数等を把握する必要がありますので、未就学児のご来場を希望される場合は、専用サイトで「事前申込」を行ってください。専用サイトには、右記QRコードからアクセスいただけます。



令和4年度 岡山県備中県民局提案型協働事業

主催：特定非営利活動法人つくぼ片山家プロジェクト

共催：岡山県備中県民局

後援予定：岡山県教育委員会／倉敷市教育委員会／公益財団法人倉敷市文化振興財団

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、延期・中止の可能性があります。最新情報は法人HP、法人FB等でご確認ください。
※ご来場の折はマスク着用、事前検温等の「新しい生活様式」に基づくご協力をお願いいたします。



「殺生石」を語る

観世流シテ方・
林宗一郎

備中能楽講座

in 天柱山頼久寺
(高梁市)

2022年
10月22日(土)

17:30~19:30 (17:15開場)

入場料: 3,000円

(先着20名/完全予約制)

お申込み・お問合せ:

NPO法人つくぼ片山家プロジェクトまで

下記①~③のいずれか

①電話: 080-3107-5759

②メール: project.katayama@gmail.com

③ホームページ(QRコードから)





林宗一郎

能「殺生石」とは

「九尾の狐」の話を耳にしたことのある方は多いと思いますが、この伝説の妖怪こそ、玉藻の前に化けた狐の精霊です。インドや中国でも絶世の美女となって時の王を惑わし、世の平安を乱す存在とされてきました。「殺生石」は、そんなスケールの大きい伝説をもとにした、変化に富んだ能です。前半は那須野の殺生石の近く、という異様な情景のなかで、女と高僧との問答が展開されます。動きは少ないのですが、妖しい雰囲気には満ちています。後半は打って変わって、狐の精霊が、自らの物語をアクション満載で再現する、大捕り物が演じられます。コンパクトにまとまって、きびきびとしたストーリー展開が楽しめます。

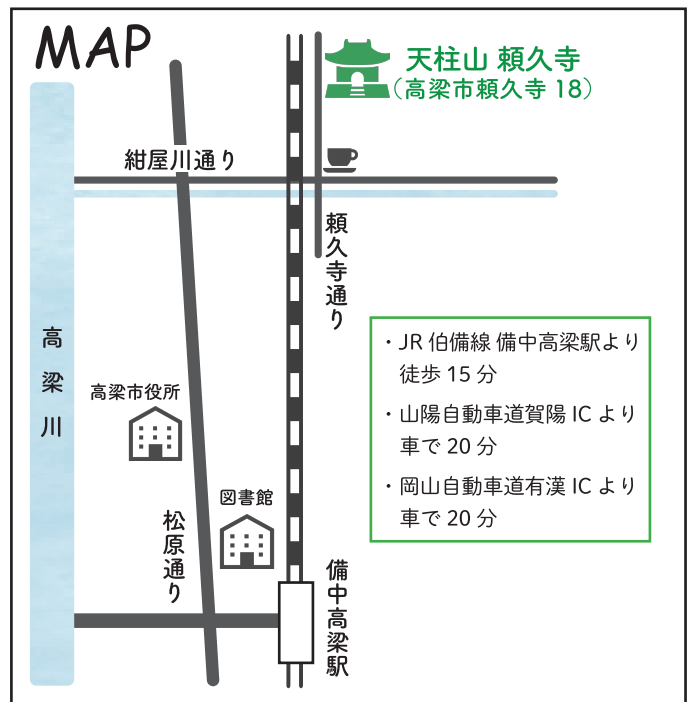
(the 能ドットコムより引用)

やっぱり伝統芸能は、おもしろい！



講師： 林 宗一郎氏

能楽師観世流シテ方。
京観世五軒家のうち、唯一残る林家十四代当主。
1979年京都生まれ。3歳で鞍馬天狗の花見役に
初舞台。父、十三世林喜右衛門師、
及び二十六世観世清和に師事。



※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、延期・中止の可能性があります。最新情報は法人HP、法人FB等でご確認ください。
※ご来場の折はマスク着用、事前検温等の「新しい生活様式」に基づくご協力をお願いいたします。

令和4年度 岡山県備中県民局提案型協働事業／第20回おかやま県民文化祭参加事業

主催：NPO法人つくぼ片山家プロジェクト

共催：岡山県備中県民局

後援：岡山県教育委員会／高梁市教育委員会

開催イベントに関するアンケート

特定非営利活動法人 つくぼ片山家プロジェクト

1. ご来場者様について下記の質問にお答えください

お住まいの住所	<input type="checkbox"/> 倉敷市 <input type="checkbox"/> 岡山市 <input type="checkbox"/> 早島町 <input type="checkbox"/> その他（ ）
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代以上
職業	<input type="checkbox"/> 生徒・学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 無職
来場手段	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> その他（ ）

2. 本日の企画について下記の質問にお答えください。

(1) 本日の企画をどちらからお知りになりましたか？
<input type="checkbox"/> 県民局・主催法人の印刷物（ビラ等） <input type="checkbox"/> 県民局・主催法人のネット情報（HP等） <input type="checkbox"/> 知人・友人からの口コミ <input type="checkbox"/> TV・ラジオなどの視聴メディア <input type="checkbox"/> その他【 _____ 】
(2) 本日の企画の開催日程・開催時間についての評価をお願いします
<input type="checkbox"/> 1 : とてもよい <input type="checkbox"/> 2 : よい <input type="checkbox"/> 3 : 普通 <input type="checkbox"/> 4 : よくない <input type="checkbox"/> 5 : わるい その理由：【 _____ 】
(3) 本日の開催会場（倉敷市芸文館）についての評価をお願いします
<input type="checkbox"/> 1 : とてもよい <input type="checkbox"/> 2 : よい <input type="checkbox"/> 3 : 普通 <input type="checkbox"/> 4 : よくない <input type="checkbox"/> 5 : わるい その理由：【 _____ 】

(4) 本日の開催内容についての評価をお願いします

①入場料（参加料 大人 ¥2000 生徒・学生 ¥1000）について

1 : とてもよい 2 : よい 3 : 普通 4 : よくない 5 : わるい

その理由 : 【 _____ 】

②未就学児の参加 OK の対応について

1 : とてもよい 2 : よい 3 : 普通 4 : よくない 5 : わるい

その理由 : 【 _____ 】

③ステージ企画（演能会、及び地元伝統芸能団体による演舞等）について

1 : とてもよい 2 : よい 3 : 普通 4 : よくない 5 : わるい

その理由 : 【 _____ 】

④ロビーの物販・展示企画について

1 : とてもよい 2 : よい 3 : 普通 4 : よくない 5 : わるい

その理由 : 【 _____ 】

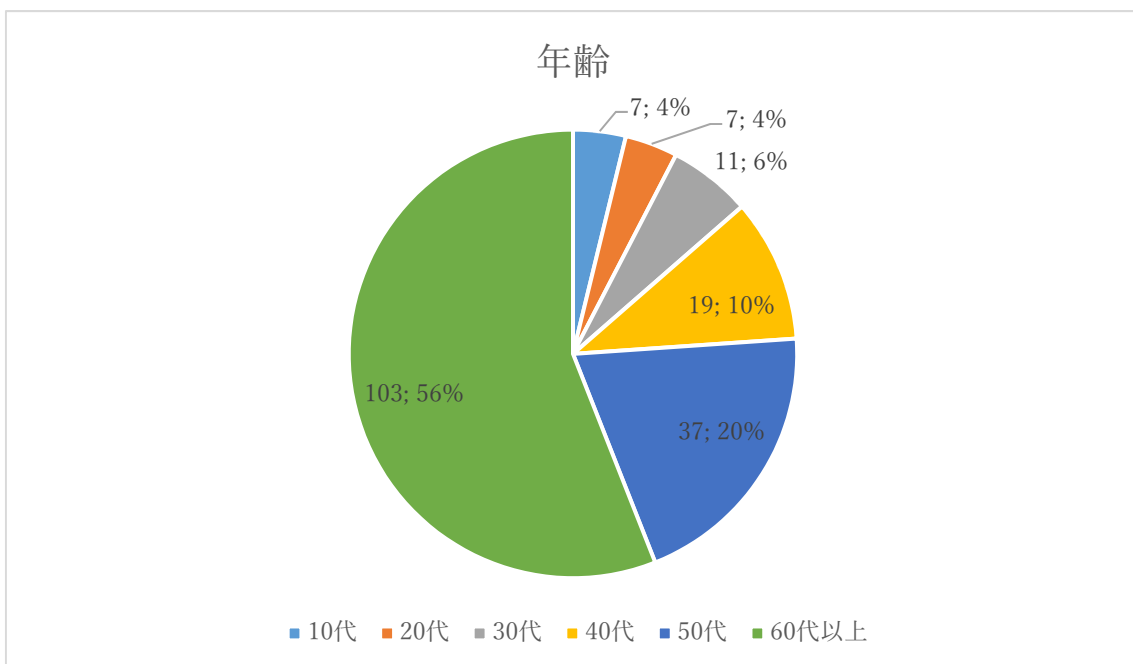
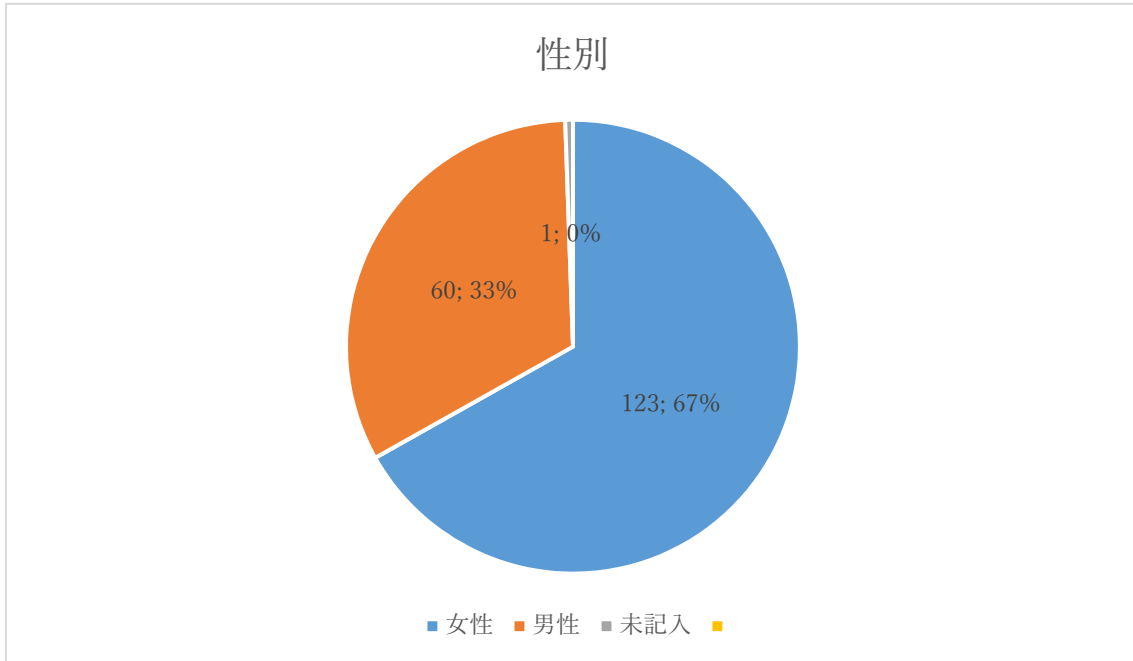
【自由記載】 その他、ご意見等があればご記載ください

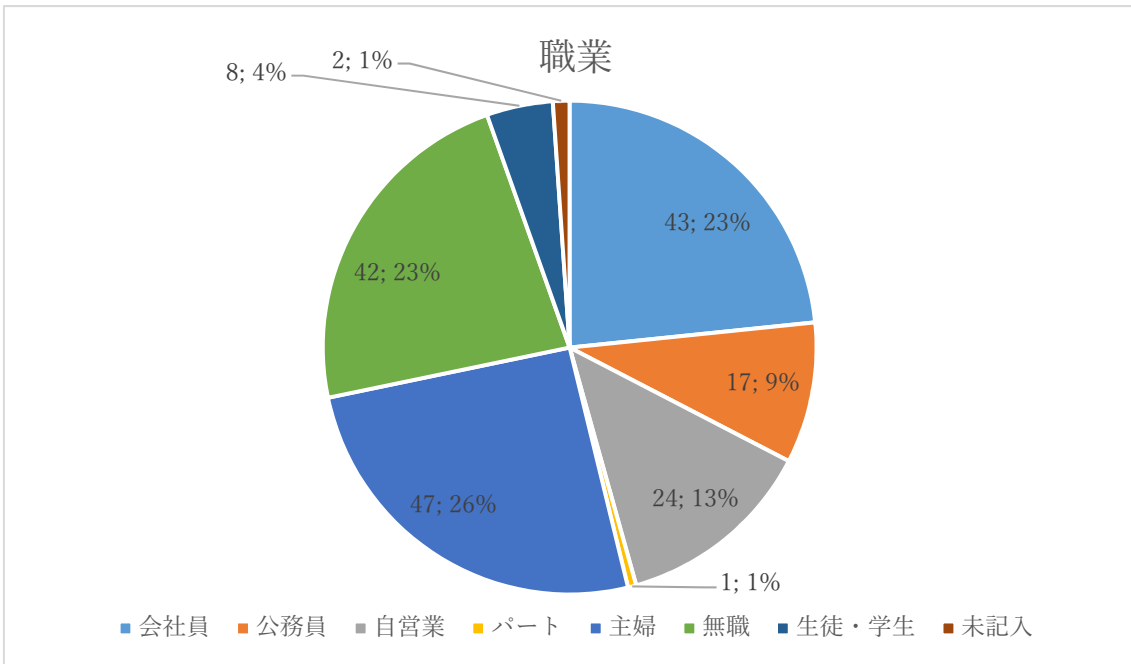
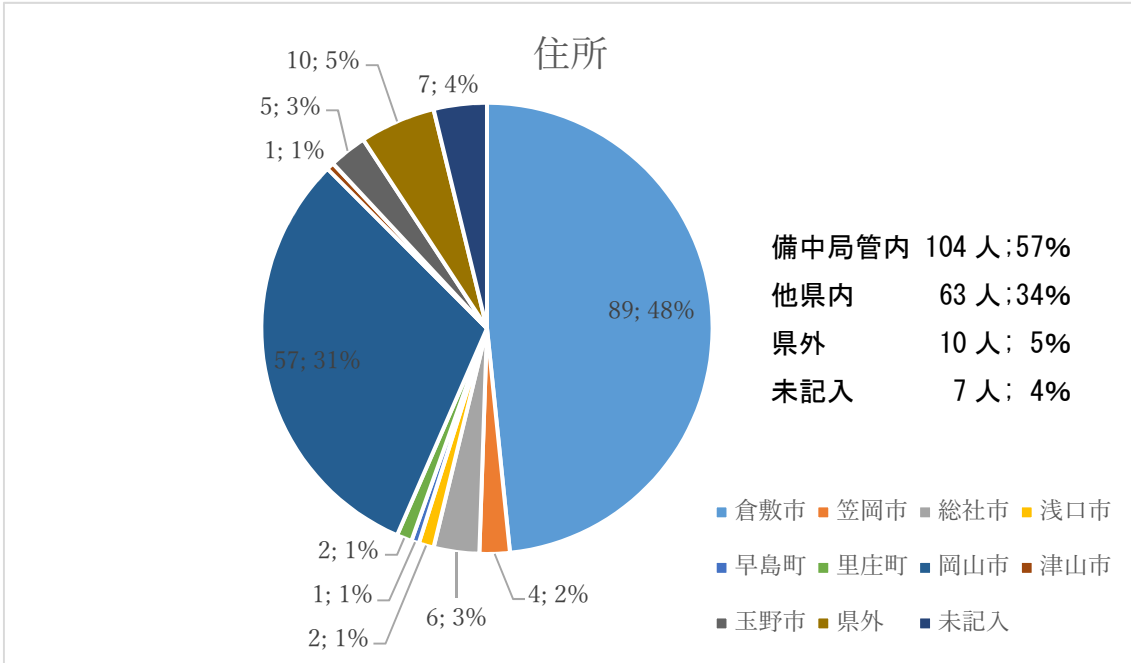
ご協力ありがとうございました。

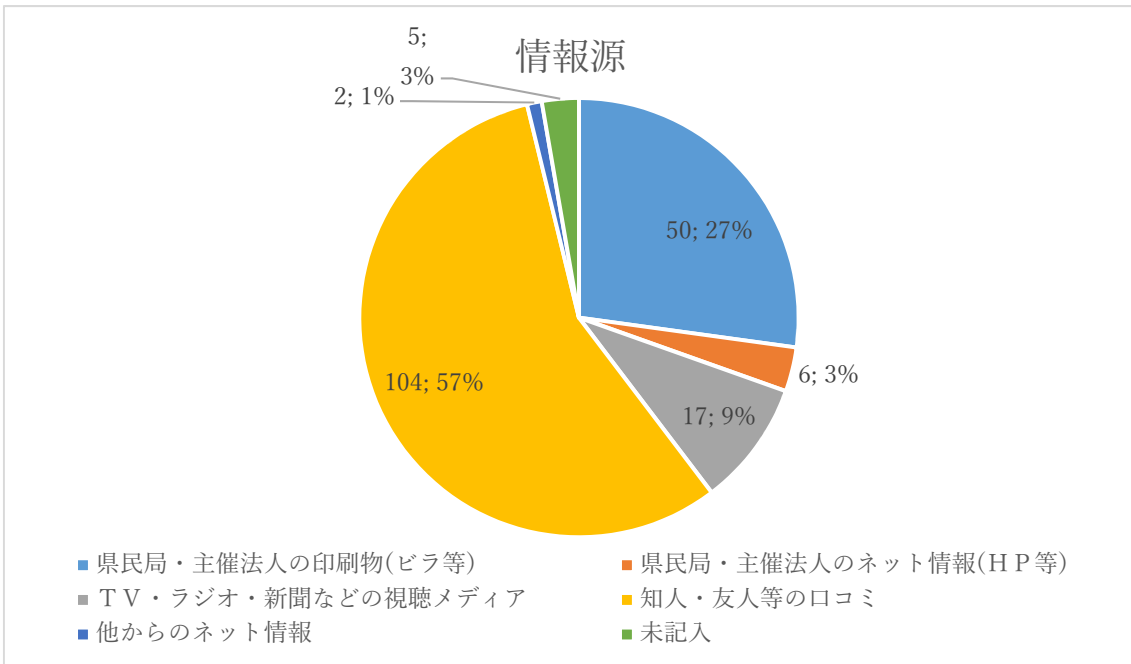
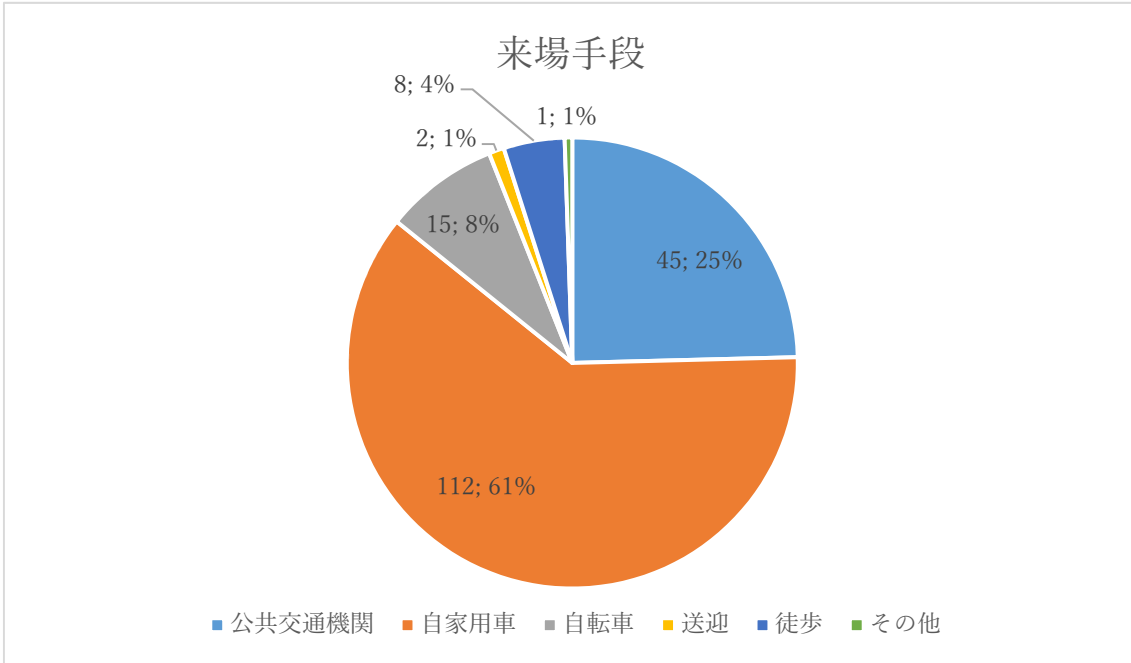
当該アンケートで得た情報は企画運営の分析・改善等以外の目的では利用いたしません。

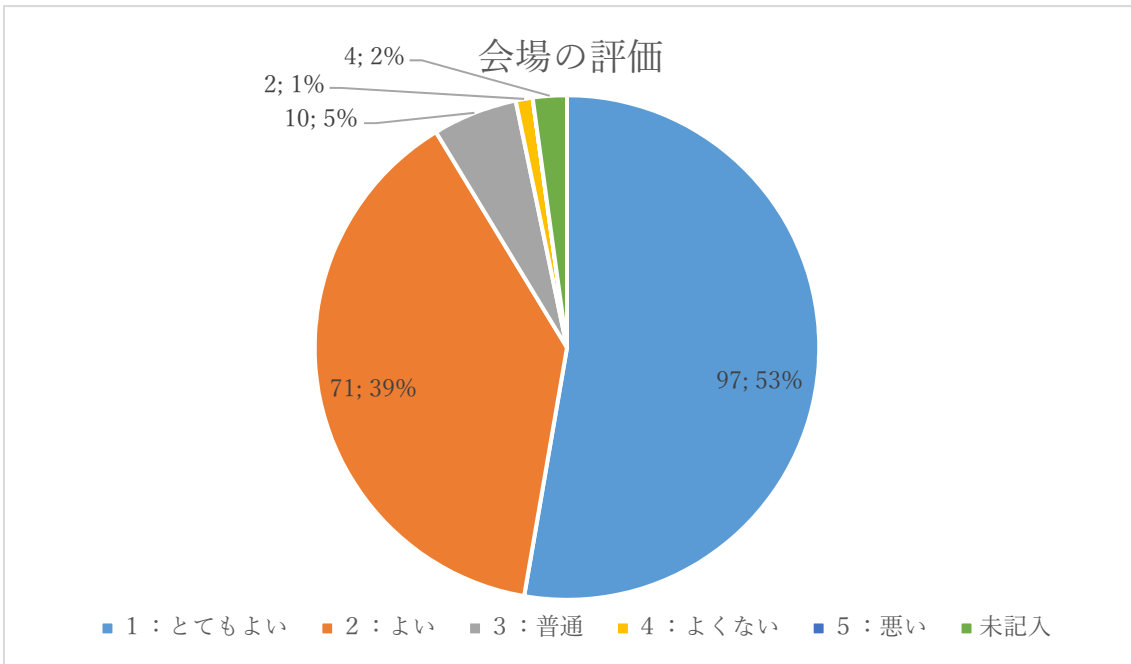
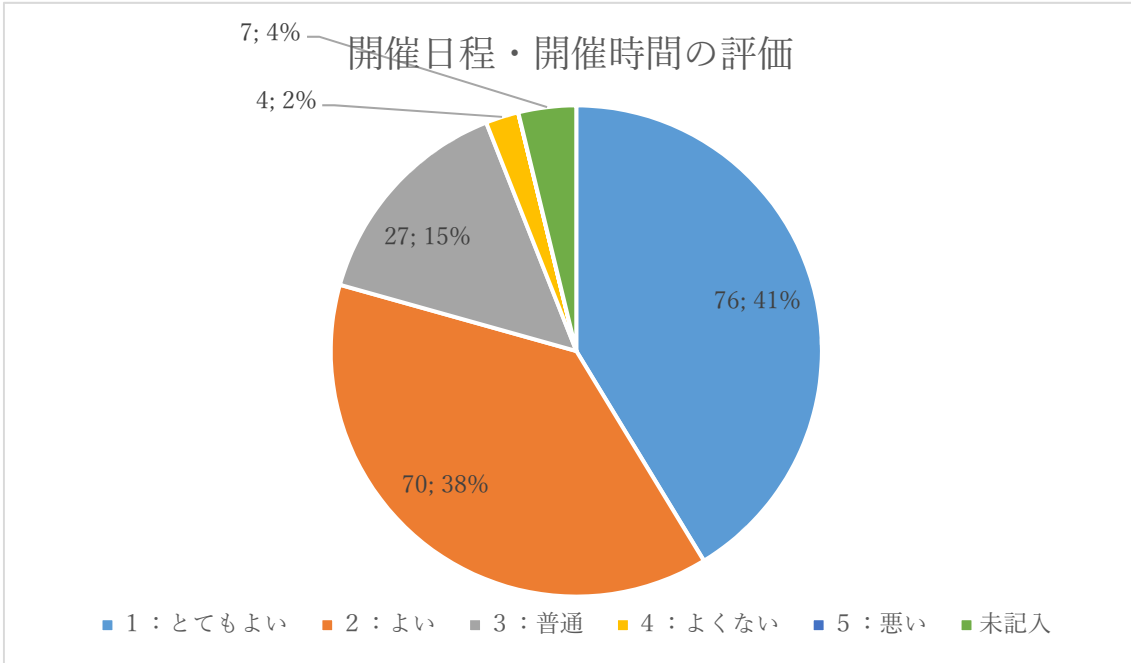
2022. 7. 31 備中伝統芸能フェスティバル アンケート結果

・受付確認 445 人中、アンケート回収 184 人 回収率 41.35%

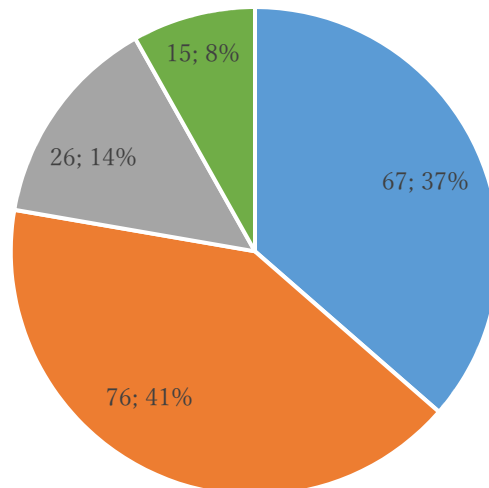






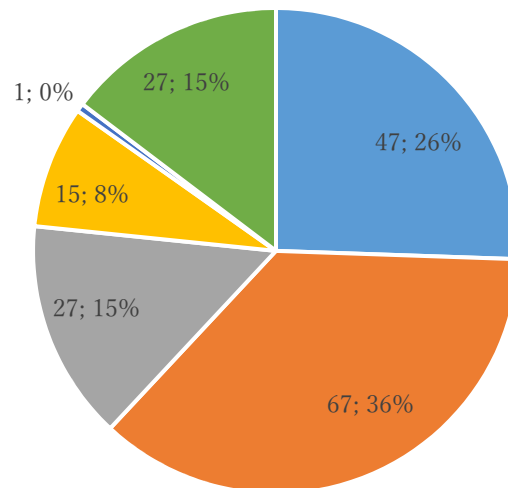


内容についての評価 ①入場料



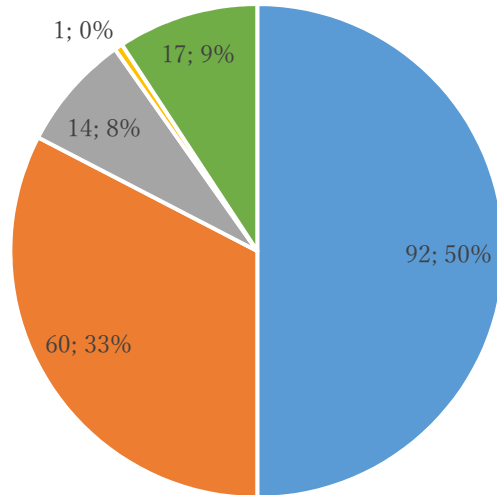
■ 1 : とてもよい ■ 2 : よい ■ 3 : 普通 ■ 4 : よくない ■ 5 : 悪い ■ 未記入

内容についての評価 ②未就学児参加OK



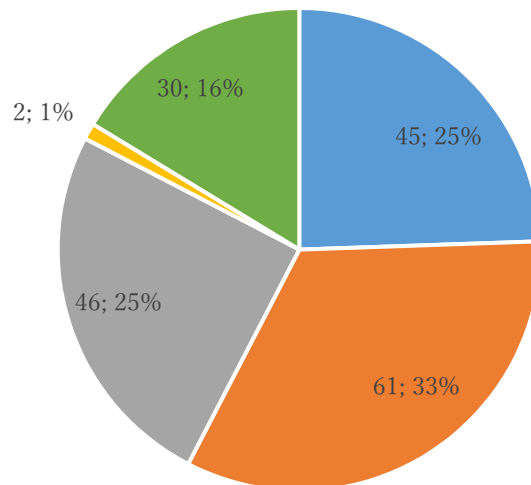
■ 1 : とてもよい ■ 2 : よい ■ 3 : 普通 ■ 4 : よくない ■ 5 : わるい ■ 未記入

内容についての評価 ③ステージ企画



■ 1 : とてもよい ■ 2 : よい ■ 3 : 普通 ■ 4 : よくない ■ 5 : 悪い ■ 未記入

内容についての評価 ④ロビー物販企画展示



■ 1 : とてもよい ■ 2 : よい ■ 3 : 普通 ■ 4 : よくない ■ 5 : 悪い ■ 未記入

2022.10.22 備中能楽講座

開催イベントアンケート結果分析

岡山県備中県民局・NPO 法人つくぼ片山家プロジェクト

住所	高梁市・新見市：2 井笠地区：0 備中県南地区：10 その他：7（岡山市：6 玉野市：1） 無回答：1
性別	男性：12 女性：7 無回答：1
年齢	30代：1 40代：3 50代：3 60代以上：12 無回答：1（10代・20代：0）
職業	会社員：5 自営業：5 公務員：2 主婦：4 無職：1 学生生徒：0 無回答：3
来場手段	徒歩：2 自転車：1 自動車（施設駐車場利用）：13 自動車（送迎）：0 公共機関（JR）：3 無回答：1

(2) 本日の企画について下記の質問にお答えください。

①本日の企画をどのようにお知りになりましたか（複数回答あり）

岡山県備中県民局の広報・ホームページ・FB等の広報：1

主催団体（つくぼ片山プロジェクト）のチラシ・ホームページ・FB等の広報：10

地元自治体（高梁市等）の広報：1 知人・友人からの紹介・口コミ：5

その他：5【 RSK ラジオ、能楽サイト、後楽園のピラ 等 】

②本日の開催時間についての評価をお願いいたします

とてもよい：13 よい：4 無回答：3

その理由：

「開催時間・量 適当」「寺の静かな雰囲気味わえた」という肯定的意見 に加え

「あまり遅くならないでほしい」「遠方からのため早い時間がうれしい」等、

夜間開催に伴う時間調整の要望も散見される

③本日の企画会場（頼久寺）につき、率直な評価をお願いします

とてもよい：15 よい：2 無回答：3

その理由：

「天柱山という名刹」「場の雰囲気」「歴史的な建造物での開催」などあり

④本日の企画内容（備中能楽講座/林宗一郎先生）につき、率直な評価をお願いします

とてもよい：18 無回答：2

その理由：

「わかりやすい」「明快」「華がある」「気づきが得られた」等の高評価

⑤あなたは伝統芸能・伝統文化に関するイベントに参加したことがありますか？

ある：16 ない（今回がはじめて）：2 無回答：2

「ある」の方

（程度） 数年に1回：1 1年に1回：3 無回答8

その他：6 （「年に数回」「2ヶ月に1回」「毎月」「年中」等）

(種別) 神楽 : 4 太鼓 : 4 能 : 11

その他 : 5 (狂言、謡曲、日本舞踊、歌舞伎等)

⑥このイベントに参加して、何らか意識変容(例:感動した、伝統芸能が身近になった、地域の活動に参加してみようと思った等)がありましたか?

ない : 0 ある : 13

ある方(具体例)

「主催して広めたい」「より身近になった」「少し勉強してみよう」などの意識変容あり

分析所感

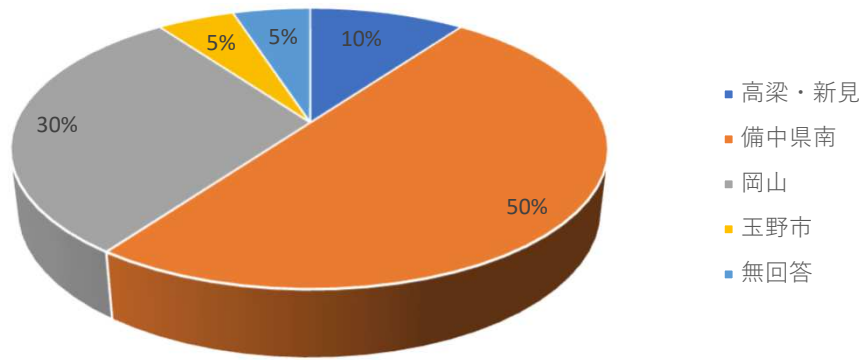
来場者は地元(高梁・新見エリア)よりも交通アクセスのよい備中県南エリアの倉敷や岡山市からの来場が多かったが、開催が夜間であったこともあり生徒・学生や10代・20代などの若年層の参加者は少なかったと思われる。また交通アクセスの影響もあり交通手段は自動車(会場の駐車場利用)が大半であり、今後の同様なイベント開催の際には交通アクセスへの配慮として施設駐車場の確保が懸案となると思われる。

企画そのものについては、アンケート項目のいずれも概ね高評価であったと思われる。

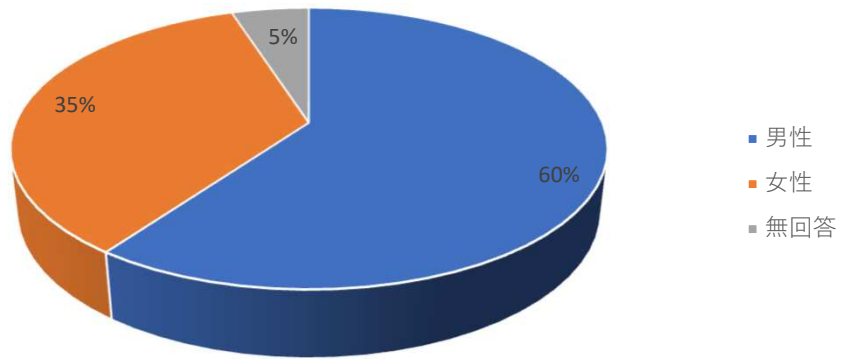
特筆すべきなのは当該イベントがはじめて伝統芸能に触れる機会となった参加者が複数名おり「はじめの一步」をとる機会を提供できたことに加え、無回答以外の全員が参加により新たな行動を起こすべく「行動変容があった」と回答あり、助成を活用し広く県民に本物の伝統芸能・伝統文化に触れるだけでなく、アクションに結び付く取り組みができたのではないかと考える。

(文責 : NPO 法人事務局 松岡)

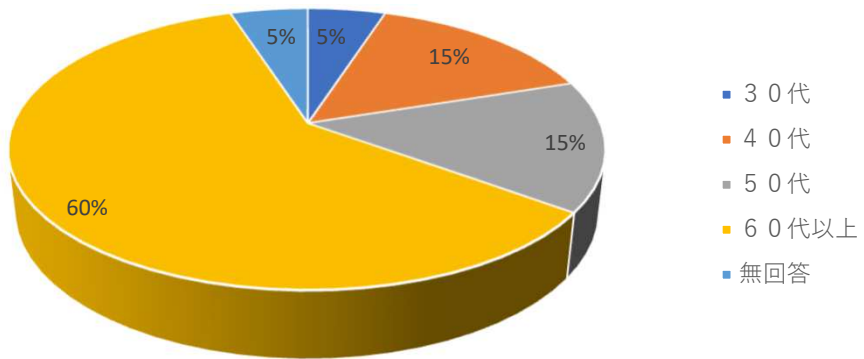
参加者住所



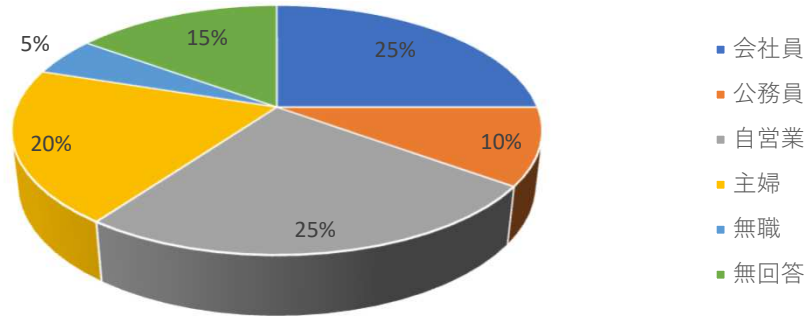
参加者性別



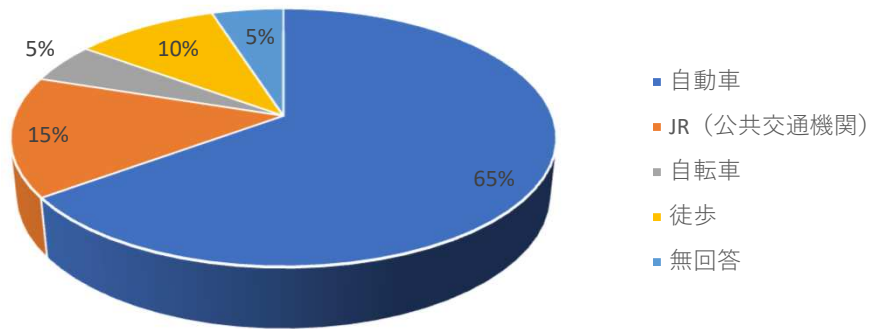
参加者年代



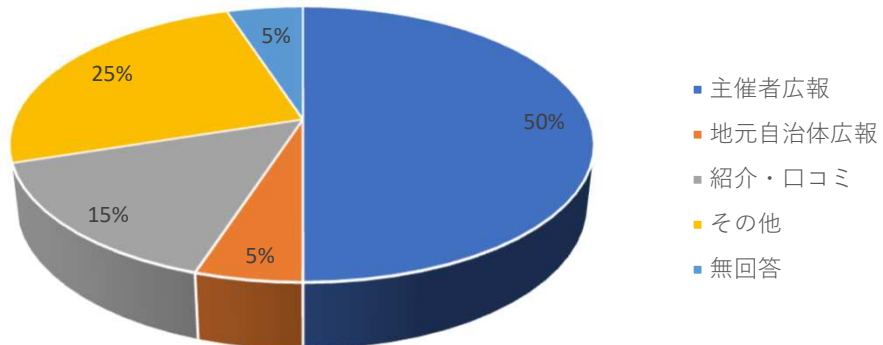
参加者職業



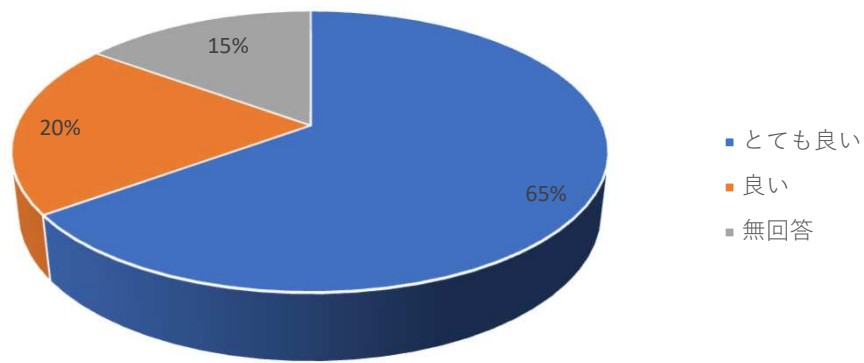
参加者来場手段



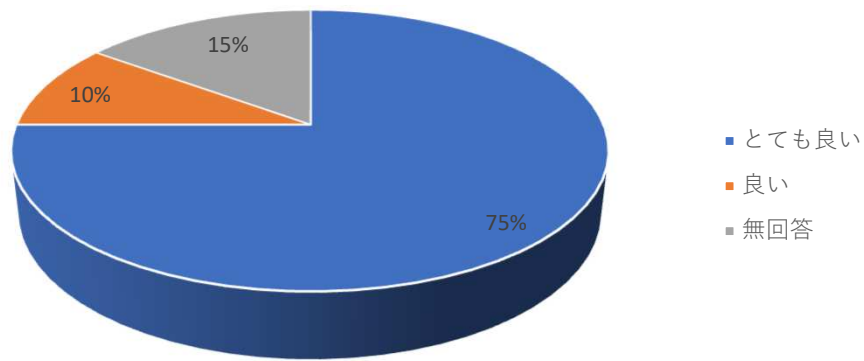
イベントを知ったきっかけ・手段



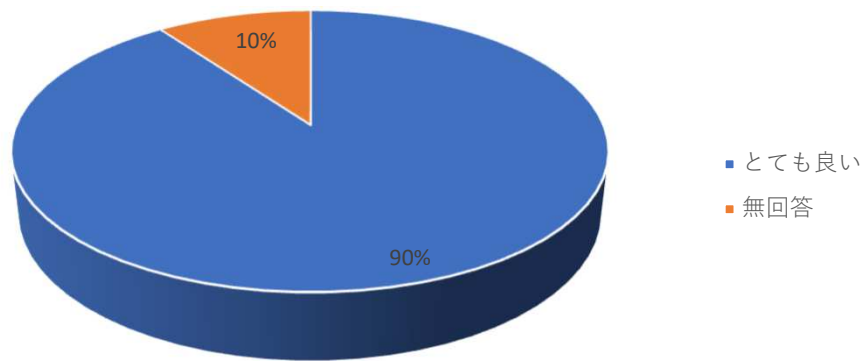
開催時間の評価



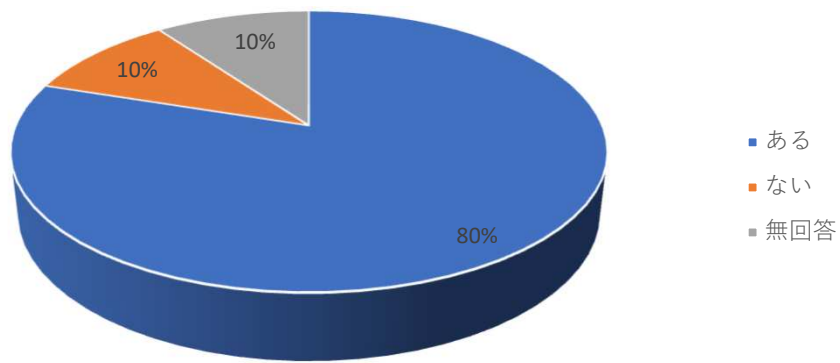
開催会場の評価



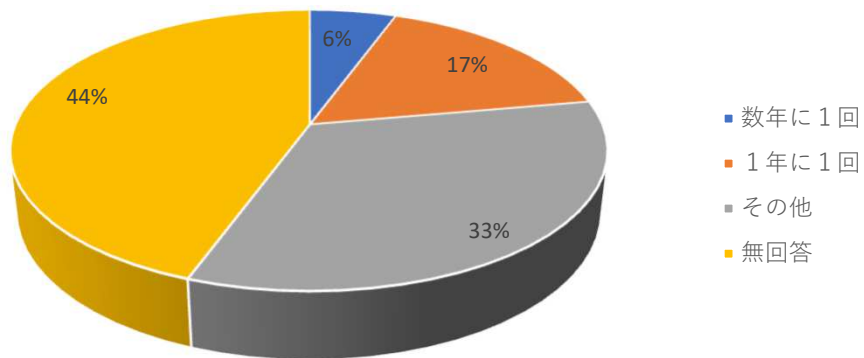
企画内容（講師）の評価



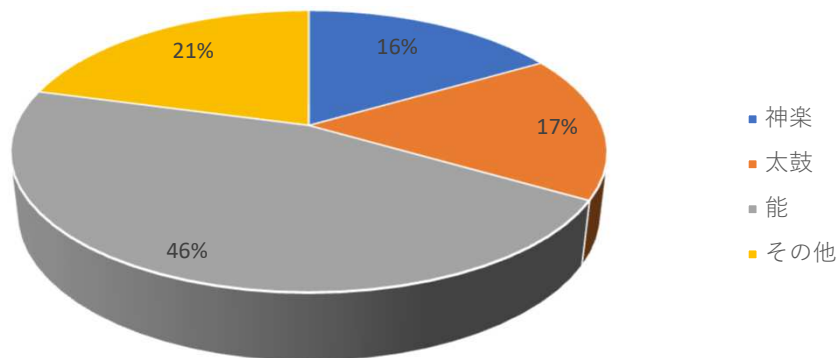
伝統芸能イベントの参加経験



伝統芸能イベントへの参加頻度



伝統芸能の種別（複数回答可）



イベント参加後の意識変容有無

